

活 動 報 告 書

2007 - 2008

皆様へ

今年も大変お世話になりました。

今シーズンも無事に怪我なく、そしてベストシーズンという形で 1 シーズンを締めくくる事ができました。

これも多くの皆様のご理解とご協力があり、スノーボードに集中できる環境を作ってくさったおかげです。

心から皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

今季は独立という新たな道を選び、期待と不安を抱えながらのスタートとなりましたが、8月からはスイスチームと共にとても良い環境の中でトレーニングに励むことができました。文化や言葉の壁を感じながらも素晴らしい指導者と仲間、スタッフに支えられながらすべてを乗り越え充実した 1 シーズンを過ごす事ができました。

過去 4 年間 16 位だったランキングも 11 位まで上げる事ができました。

まだまだ現状に満足することはできませんが新たな道を歩き始めた 1 年目としては良いスタートをきる事ができました。

アルペンの歴史があるヨーロッパでこれからも多くの事を学び、日本とスイス、両国の良さを兼ね備えた選手になっていけるよう来シーズンも頑張りたいと思います。

そしてスノーボードを通じてスポーツの素晴らしさ、目標を持ちそれに向かって歩むことの素晴らしさを小さな子供たちをはじめ多くの方たちに伝えていけるように取り組んでいきたいと思っています。

来シーズンも良いシーズンとなるよう精一杯、取り組んでいきますのでこれからもご支援・ご声援のほどよろしくお願いいたします。

竹内智香

戦績

2007年10月12日	ワールドカップ第1戦	オランダ	Landgraaf	PSL	11位
2007年10月21日	ワールドカップ第2戦	オーストリー	Solden	PGS	6位
2007年12月8日	ワールドカップ第3戦	イタリア	Limone Piemonte	PGS	8位
2007年12月16日	ワールドカップ第4戦	スイス	Nendaz	PSL	15位
2008年1月9日	ワールドカップ第5戦	オーストリー	Badgastein	PSL	8位
2008年1月10日	ヨーロッパカップ	オーストリー	Badgastein	PSL	6位
2008年1月19日	ワールドカップ第6戦	スペイン	La Molina	PGS	11位
2008年1月20日	ワールドカップ第7戦	スペイン	La Molina	PSL	15位
2008年1月27日	ヨーロッパカップ招待レース	ドイツ	Sudelfeld	PGS	5位
2008年2月17日	ワールドカップ第8戦	韓国	Sungwoo	PGS	11位
2008年2月24日	ワールドカップ第9戦	日本	郡上	PGS	12位
2008年3月3日	ワールドカップ第10戦	アメリカ	Lake Placid	PGS	12位
2008年3月8日	ワールドカップ第11戦	カナダ	Stoneham	PGS	32位
2008年3月15日	ワールドカップ第12戦	イタリア	Valmalenco	PGS	7位
2007-2008	ワールドカップ総合ランキング				11位

NOKIA FIS WROLD CUP 第1戦 IN LANDGRAAF (オランダ)

PSL 11位 (予選6位通過)



今季も開幕戦はオランダで開催されました。

今回の開幕戦は私自身の開幕戦でもありました。

2007年の春に独立しヨーロッパのスキー文化を学びたいという思いからスイスチームとトレーニングを共にする事決めました。

8月からとても充実したトレーニングを積むことができベストな状態で開幕戦を迎えることができました。

11位という結果には喜びを感じることはできませんでしたが苦手意識の強かったスキー場で予選を6位で通過できたことは大きな手応えと自信を得ることができました。

そして半年間の活動が小さな1歩として表れたレースでした。



NOKIA FIS WROLD CUP 第2戦 IN SOLDEN (オーストリー)

PGS 6位 (予選3位通過)



秋のトレーニングからGSの調子がとてもよく、私自身、このレースをとても楽しみにしていました。

そしてコーチからも「トップ5を約束するよ」とレース前日には言葉をかけてもらいました。

私にとって今季コーチであるクリスチャンの存在がとても大きかったです。レースに対する気持ちのもって行き方、自分を信じる心の強さをコーチ・そしてチームメートから学ぶことができました。

今まで予選を1度も通過したことのないここで3位通過し6位になれたことは優勝の手応えを感じる事ができる瞬間でもありました。

「トップ5」には一歩及びみませんでした、このレースでは自分を信じる事の大切さを学ぶことができました。



NOKIA FIS WROLD CUP 第3戦 IN LIMONE PIA MONTE (イタリア)

PGS 8位 (予選10位通過)



第3戦、イタリアのワールドカップでは町を上げての開催でした。レース前のセレモニーは多くの観客が集まった中で行われました。

そんな中でレースに参加できたことはとても思い出深いものになりました。

このレース前々日にはコーチからのアドバイスで「10割の力で一か八かでの勝利はラッキーに過ぎない。オリンピックや大舞台で勝つ為には

8割で通用する力を身につけること。今回は8割の力でどこまで通用するか試そう」というアドバイスでした。しかし、この8割で戦うという事の難しさを感じる1日でもありました。常に10割で戦っていた私にとっては滑りをコントロールして戦うことの難しさを感じる、とても良い勉強になる1戦でした。

パラレル競技では10本、安定した滑りをするということの大切さを学ぶ1戦でした。



NOKIA FIS WROLD CUP 第4戦 IN NENDAZ (スイス)

PSL 15位 (予選15位通過)



第4戦NENDAZでのワールドカップはとても楽しみにしていた1戦でありました。今季からスイスチームとトレーニングを共にする事になりスイスは私にとって第二の母国だと感じるようになりました。

スイスチームのファンクラブやスイスチームの家族との交流も増えた事によって地元で私を応援してくれる人たちも増えました。そんな中で迎えたレース予選1本目は転倒し順位

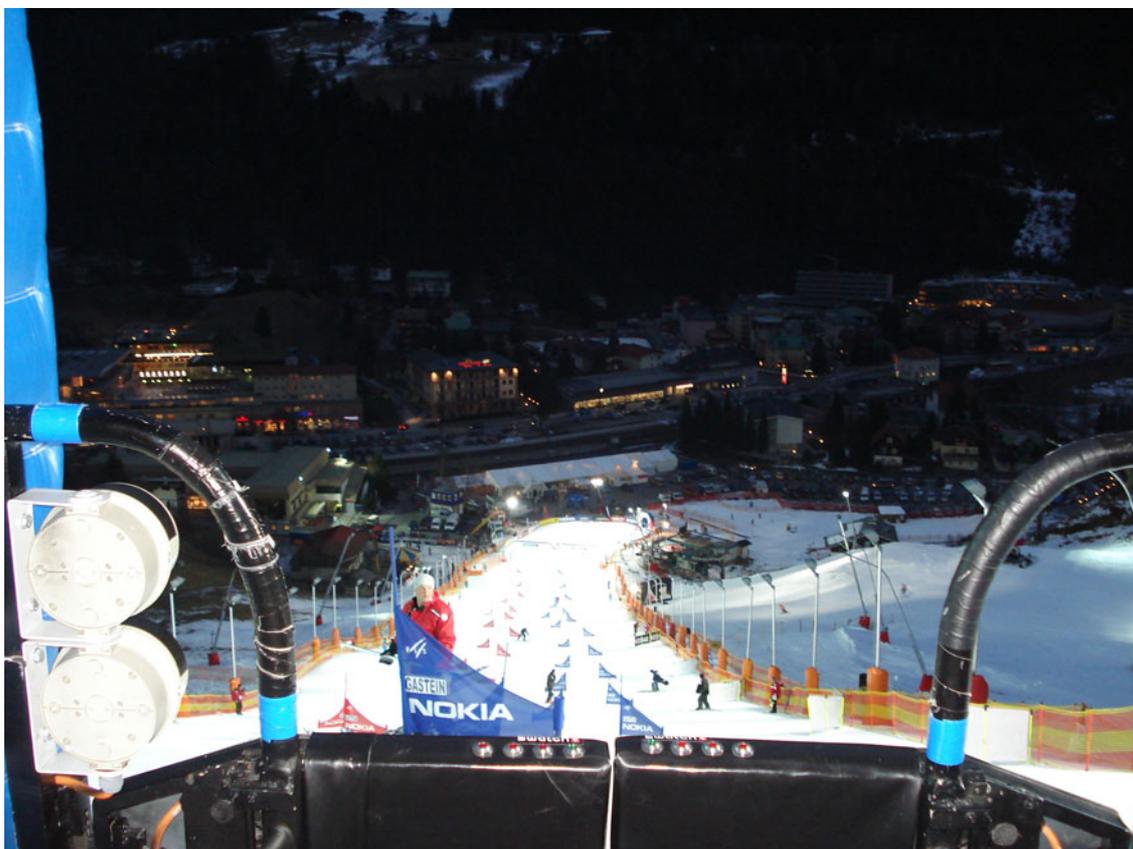


を大きく落としてのスタートとなりました。しかし多くの応援があり転倒しても冷静に滑る事ができそして決勝に残ることができました。

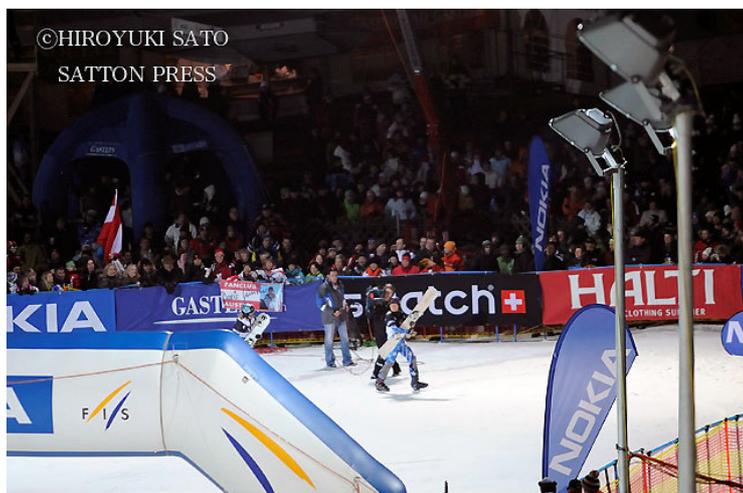
開幕が11位・6位・8位という成績だっただけに15位という結果はとても悔しいものですが最後まで諦めずに戦うことの大切さと仲間や応援してくれる人たちの存在の大きさを感じる1日でした。

NOKIA FIS WROLD CUP 第5戦 IN BADGASTEIN (オーストリー)

PSL 8位 (予選 14位通過)



2008年最初のレースはオーストリーバドガシュタインで開催されました。アルペンが盛んなオーストリーでは観客も多く集まりとても良い雰囲気の中でレースが行われます。今季はGSに比べSLの調子は若干劣っていましたがそれでも良い状態でスタートを迎える事ができました。そしてレースでSL



のととても良い感覚を得られたことが今回の一番の収穫だったと思います。

そして次の日に行われたヨーロッパカップでは6位。このヨーロッパカップではコーチなしという初めての経験をしました。そんな中でも自分でしっかりと滑りを振り返りながら戦えるようになっていた事にも驚かされました。今季は多くの事を経験している事によって自分で考え行動する力がついていていると感じる1戦でした。

NOKIA FIS WROLD CUP 第6・7戦 IN LAMORINA (スペイン)

PGS 11位 (予選 11位通過)

PSL 15位 (予選 15位通過)



拠点にしているスイスから約 12 時間かけての移動をしての参戦でした。今回行われたスペインのコースは私が今まで経験してきた中でも最も急斜面でのレースでした。

昨季であれば精神的に負けてしまうようなコースでしたが、今季はそれ以上に難しい条件下でトレーニングしているため、いつもと変わらない良い滑りをする事ができました。



しかし、GS の決勝 1 回戦では圧倒的にリードしていたにも関わらずゴール直前で転倒してしまい 1 回戦敗退という結果に終わりました。

そして SL ではやはりまだまだ技術的に足りない部分がある中でのスタートでしたができる範囲でのベストを尽くすことができた 1 戦だったと思っています。

精神的にも技術的に落ち着いて挑むことができた 2 戦でした。

NOKIA FIS WROLD CUP 第8戦 IN SUNGWOO (韓国)

P G S 11位 (予選5位通過)



来季の世界選手権会場であるため、
プレ世界選手権として開催されました。

非常に調子が良く自信を持って迎え
予選を5位で通過。決勝1回戦では
オーストリーのハイディとの対戦。
今回もスペイン同様に最後までリー
ドしていました。しかし、スペイン
のゴール前で転倒した時のことが頭



の中をよぎり、ゴール直前は無難に
滑る事を選択しました。しかしそれが敗因となり、ゴール前で抜かれてしまい敗退しまし
た。スペインの世界カップからは色んな事を考えて滑るようになってしまい、シンプ
ルな戦い方ができなくなっている事に気づきました。

そして韓国のレースからスイスのシモンが復帰してきました。彼は予選落ちをしましたが
そんな中でもチームメートのためにコース整備をする姿からは多くの事を学びました。



母国である日本での開催。

今季、外国人と多くの交流を得たことによって日本で開催されるワールドカップでは皆に日本の事を知ってもらい楽しんでもらいたいという思いでいました。

名古屋城見学、日本食レストラン、回転寿司に行くなど日本の文化や食事に触れてもらう事ができてとても充実した1週間でした。

特にこの写真にある掘りごたつでの食事は外国人にとっても喜んでもらうことができました。

そして日本酒や名古屋名物、日本料理を気に入ってくれたことが日本人としてとても嬉しかったです。

そして天候が安定しない中、多くのスポンサー、役員の方のご協力によって素晴らしい大会運営をしてくださったことに心から感謝します。

レースでは12位という悔しい結果ではありましたが、日本開催という事もあり多くの方が応援に来てくださったことがとても嬉しかったです。



NOKIA FIS WROLD CUP 第10戦 IN LAKE PLACID (アメリカ)

PGS 12位 (予選10位通過)



レイクプラシッドのレースではトレーニングを共にしているスイスのフレンツィが約1年ぶりの表彰台に上がりました。チームメートの勝利はとても嬉しく、そして自信を与えてもらうことができます。

強豪国と言われるオーストリーやスイスから強い選手が次々と現れてくるのはチーム内で争い合えるからだと感じました。



選手層の厚い中で勝ち上がりワールドカップの出場権を手にして出場するヨーロッパ人はやはり私とはどこか違うメンタルの強さを持っているように感じる1戦でした。

いつもトレーニングでは同じタイムを出しながら切磋琢磨できているフレンツィの強さをこのレースで感じることができました。

これからもスイスチームと共に切磋琢磨し人としても選手としても成長していきたいと思えます。

NOKIA FIS WROLD CUP 第11戦 IN STONEHAM (カナダ)

PGS 32位 (予選2本目コースアウト)



2010年、バンクーバーオリンピックが開催されるという事もあってか今回のレースには多くの観客が集まった中で開催されました。その中でも注目となったのはカナダ出身のジェシーです。2児の父として4度目のオリンピックでメダルを目指している選手です。競技者として父親として戦う姿に心を打たれ、私も1年でも長く世界のトップで戦い続けたいと思う瞬間でした。

今回のレースでは今季初の予選落ちという結果に終わりましたが仲間をサポートする側になりそこからは多くのことを学びました。レースを客観的に観戦することによって、今まで自分が見えていなかったものを見ることができたり、冷静にレースについて分析できる1戦でした。



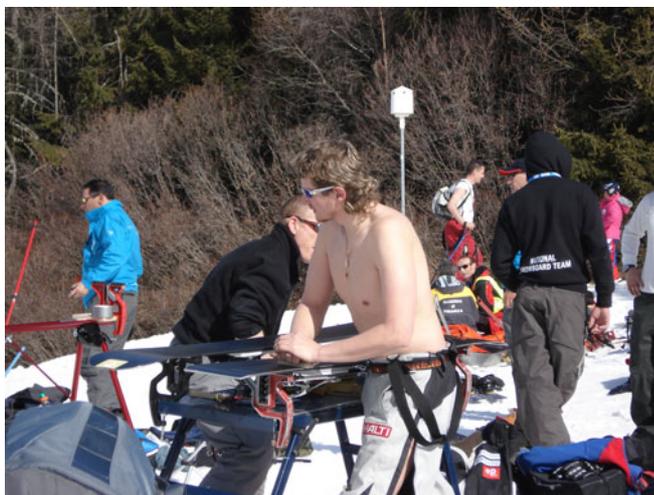
NOKIA FIS WROLD CUP 第12戦 IN VALMALENO (イタリア)

PGS 7位 (予選10位通過)



春のような陽気の中、行われたワールドカップ最終戦は7位という結果で締めくくりました。

過去4年間ワールドカップランキング16位が続いていましたが今季は11位という形でシーズンを終える事ができました。11位という結果も満足できる結果ではなく悔しいものではありませんが通過点の一つとしてこれからもさらに上を目指して取り組んでいきたいと思えます。



そして一年間スイスチームとトレーニングを共にし改めて自分に足りないものを気付かされる一年となりました。独立した事によって今まで見えていなかった事への感謝の気持ち、そして自分で考え決断し行動することの大切さを学びました。

来期も人としても選手としても成長していけるように取り組んでいきますのでこれからもご支援ご声援のほど、宜しくお願い致します。

オーストリーチーム・フランスチームとの合宿 （6月1日～6月30日）



6月はオーストリーチーム・フランスチームとともにトレーニングをさせていただきました。
今までは怪我を恐れていてなかなかできなかったトランポリントレーニングもフランスチームの影響で取り入れることができました。
イメージしたことを体で表現する事の難しさ、恐怖心を捨てて何かに挑戦する事の大切さ。
全てがスノーボードに通じる大切なトレーニングであるということこの夏に感じました。



そしてクロスチームなど他種目の選手たちとのビーチバレー。
雪上後にビーチバレーを行うことも多々ありました。
6月はトレーニングジムでトレーニングを行うことは比較的少なかったのですが外で身体を動かすことによって得ることも多くある1ヶ月となりました。



ここ数年ヨーロッパの氷河では6月を過ぎると条件が悪くなっています。しかし、フランスの氷河はヨーロッパでは一番と言ってよいほど雪のコンディションがとても良く充実したトレーニングとマテリアルテストを行うことができました。
6月にしっかりとした滑りこみとテストをできたことはとても良かったです。

スイスチーム秋季キャンプ (8月22日～9月15日 SAASFEEにて)



8月末からスイスチームに合流して1ヶ月間は SAASFEE という氷河でトレーニングを行いました。

スイスには 4000M 級の山があり夏でもとても良いコンディションでトレーニングする事ができました。

SAASFEE でのトレーニングは技術的な事を吸収する以上にチームに馴染むことで精一杯となる1ヶ月でした。



雪上トレーニング後には毎日、チームの皆とフィジカルトレーニングを行いました。

バレーボールに始まり体幹・クイック系・アウトドアスポーツを行いました。

言葉が全く通じない中でのチームトレーニングは遊びの中から少しずつ学び、コミュニケーションをとることができました。



日本チームではほとんどがホテル暮らしでしたが今季は皆でアパートを借りて自炊という事が多くありました。当番制で食事を作り生活を送るというパターンでした。

外国人と生活を共にする事によって食生活の違いやスノーボードに対する考え方の違い、文化の違いなどを学ぶことができました。

スイスチーム秋季キャンプ (9月15日～9月30日 ZERMATTにて)



トレーニングから戻りまず最初に向かうのはワックスルームです。サービスマンが100%板の管理をしてくれるため雪上トレーニング後はゆっくりとフィジカルトレーニングやミーティングに時間を使う事ができました。

改めてスイスチームの環境の良さを感じる瞬間でもありました。



9月に入ってからワールドカップと同じ形式での実践トレーニングが入ってきました。

常にトレーニングに進化や変化を求めるスイスチームのやり方は私にはとても合っており技術的にも精神的にも大きく成長できる1ヶ月でありました。



世界的に有名なマッターホルン。

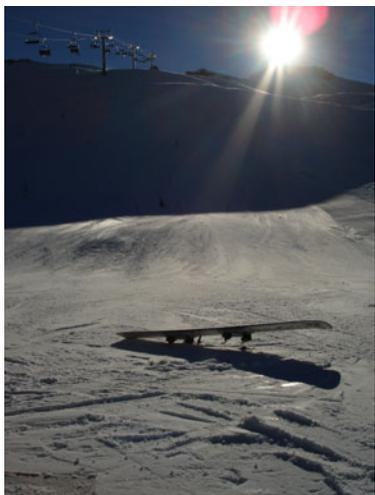
毎日マッターホルンを眺めながら雪上トレーニングを行います。

スイスには多くの日本人客が訪れていることに驚かされる毎日でした。

ツェルマットではおそらくスイス人の人口よりも日本人の人口の方が多かったと思います。

日本とスイス、国境を越えて両国の良さを学び人間性も磨いていきたいと思うときでありました。

スイスチーム冬季キャンプ (11月1日～11月30日 TITLES・ZINAL・YBRIGにて)



11月のヨーロッパは天候が安定しないため、トレーニングスケジュールの変更が多々ありました。
スイスに拠点を置くことによって、常にどこのスキー場の条件が良いかリアルタイムに情報を得ながらトレーニングする事ができました。
特にこの写真のスキー場ではアイスバーン・難しいコースでトレーニングする事ができました。
常に難しいコースでトレーニングする事によってワールドカップコースが楽に感じられるようになり、より自分の力を発揮できるようになりました。



YBRIG というスキー場でトレーニングを行った時はスイス選手の別荘（山小屋）で生活しました。屋根裏部屋に1列に並び寝袋で寝るといっても貴重な経験をしました。
ストーブもなく、暖炉で火を起し家を暖めながらの生活です。
テレビもインターネットもないところでの生活からは自然の大切さや今、どれだけ恵まれた環境にいるかということのを再認識する事ができました。



充実したキッチンもないため、食料はスーパーから購入し暖炉の火で調理を行う生活でした。
暖炉を囲み皆で食べるお肉はとても美味しかったです。

そしてスイスチームのたくましさ、生きる力の強さを感じる合宿となりました。